

令和2年11月6日

大洲市長 二 宮 隆 久 様

大洲市民文化会館建設検討審議会

会 長 城戸猪喜夫

大洲市民文化会館の整備について（第1次答申）

大洲市民文化会館建設検討審議会（以下「審議会」という。）は、「大洲市民文化会館建設検討審議会に関する条例」第2条の規定に基づき、平成29年11月30日付け29大財第1298号にて、「大洲市民文化会館の整備方針（立地条件、施設の規模・機能）」について諮問を受けました。

本審議会において、事業の円滑な推進を図るため、まず、「立地条件について」を先行して審議することとし、市民会議及び市民アンケート、審議会による類似参考施設の視察等も踏まえた審議結果につきまして、「第1次答申」として答申いたします。

なお、大洲市におかれましては、「大洲市第2次総合計画」の基本目標に掲げている「文化きらめくまちづくり」の実現に向けて、具体的な施策を積極的に展開され、文化芸術振興を図っていただきますよう意見を附します。

記

1 建設候補地の選定結果について

「誰もが暮らしやすいまち」を実現するために策定された「大洲市立地適正化計画」を上位計画とし、『都市機能誘導区域』内において建設することが可能な3箇所の候補地のうち、「愛媛たいき農業協同組合移転後の用地」が最も適していると判断いたしました。

2 候補地の選定理由等について（別紙1のとおり）

- (1) 市民会館の現状について
- (2) 候補地の選定理由
- (3) 比較評価について

3 施設整備にあたっての配慮事項について（別紙2のとおり）

## 候補地の選定理由等について

### (1) 市民会館の現状について

現在の大洲市民会館は、昭和43年に建設され、本市のコミュニティ、芸術文化活動の拠点施設として、多くの市民に利用されている一方、開館から50年以上が経過し、施設、設備の老朽化が著しいことに加えて、バリアフリー環境の不備、駐車場不足など多くの課題を抱えています。

また、人口減少や少子高齢化の進行により、利用者の減少や市民ニーズが多様化しており、市民会館の在り方や役割を見直すことも必要です。

これらを踏まえ、新しい市民文化会館には、子どもから高齢者まで幅広い市民が気軽に多様な文化・芸術に親しむとともに、人と人、お互いの活動を結び、交流の輪を広げる場として利用できることが望まれています。

### (2) 候補地の選定理由

大洲市民文化会館建設検討審議会は、答申に至るまでに、現市民会館の現状把握、市民意見の分析、近隣施設の現状について視察・調査を行いました。

市民が望む、これからの大洲市に相応しい施設整備を進めるため、候補地に求められている条件を整理し、様々な視点から候補地の比較を行いました。

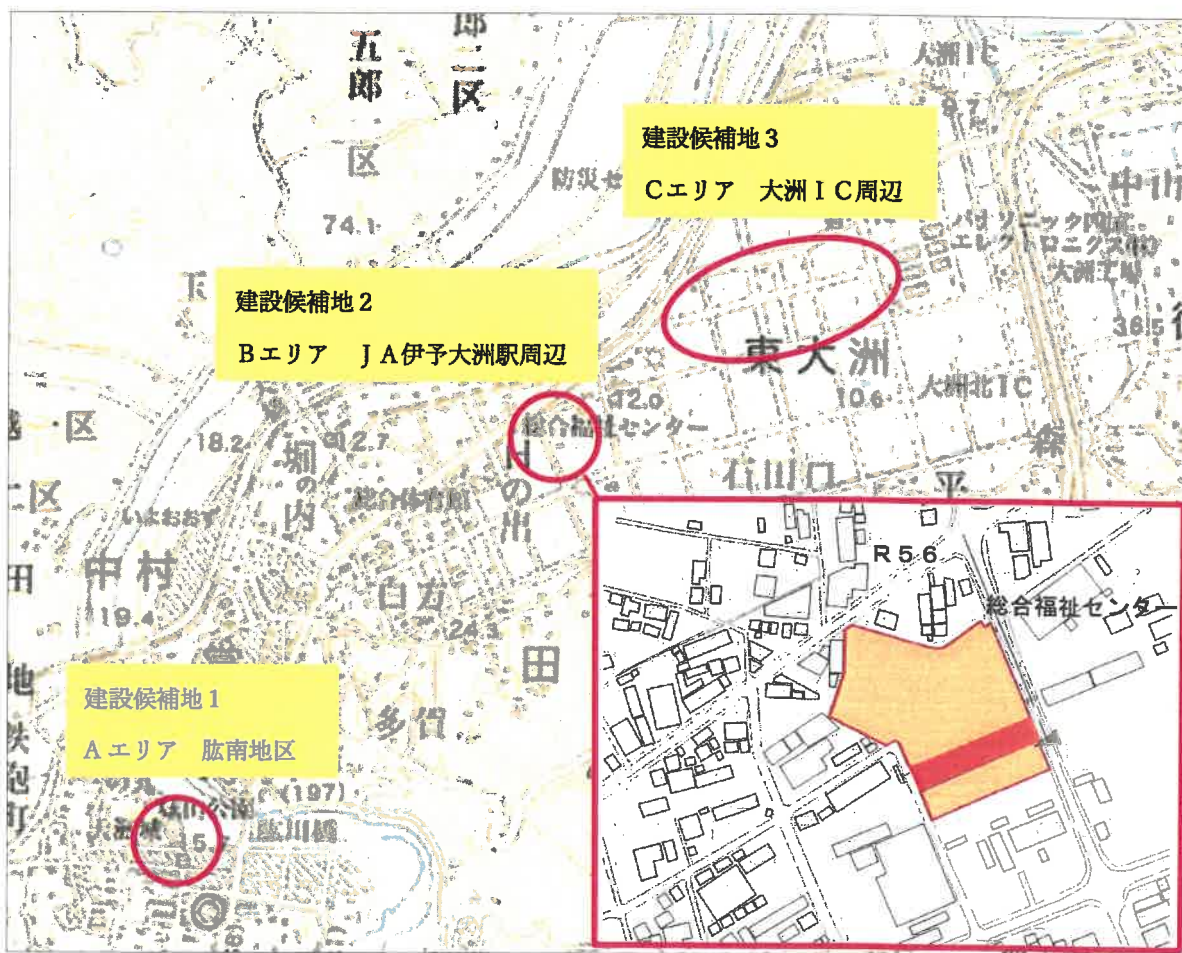
自動車・公共交通利用を踏まえたアクセス条件、市民要望としても最も意見の多かった駐車場の確保、利便性を考慮した周辺公共施設との相互利用・相乗効果などから、総合的に評価した結果、「愛媛たいき農業協同組合移転後の用地が最も適している」との結論に至りました。

(3) 比較評価について

(建設候補地)

候補地	エリア	面積
候補地 1 現市民会館所在地	A 肱南地区	約 7,700 m <sup>2</sup>
候補地 2 愛媛たいき農業協同組合移転後用地	B 伊予大洲駅周辺	約 14,000 m <sup>2</sup>
候補地 3 大洲 IC 付近用地	C 大洲 IC 周辺	約 11,000 m <sup>2</sup>

(各エリア図)



※一部個人所有地につき、今後用地交渉予定

(比較項目)

【制限事項など】

項目	候補地 1	候補地 2	候補地 3
用途地域の制限	あり	なし(一部第1種住居地域あり)	あり(特別工業地域)
都市計画公園	該当	なし	なし
景観保全区域	該当	なし	なし
埋蔵文化財	該当	なし	なし
農地転用	なし	なし	該当
盛土規制	なし	なし	該当

【災害リスク】

項目	候補地 1	候補地 2	候補地 3
ハザードマップ上の災害リスク	建物(現在位置) 該当なし→○ 駐車場(現在位置) 2.0m以上～5.0m未満 →×	建物(北側本所付近) 1.0m以上～2.0m未満→△ 駐車場(南側飛び地部分) 2.0m以上～5.0m未満 →×	建物: 2.0m以上～5.0m 未満→× 駐車場: 2.0m以上～5.0 m未満→×
平成30年豪雨災害時被害状況	被害なし	60cm(建物の被害状況としては床上10cm)	1.3m～1.6m

【市民会館不在期間】

項目	候補地 1	候補地 2	候補地 3
市民会館不在期間	閉館から建替えまで不在期間が発生	移転のためなし	移転のためなし

【交通アクセス】

項目	候補地 1	候補地 2	候補地 3
伊予大洲駅からの距離	1.6km(徒歩21分)	1.2km(徒歩15分)	2.6km(徒歩32分)
大型車両の通行のしやすさ	難あり	良い	比較的難あり

施設整備にあたっての配慮事項について

(1) 災害リスクに配慮した施設整備

平成30年7月豪雨災害時の被害状況にも配慮し、災害に強く、避難所としての機能も持たせた施設検討を望みます。

(2) 公共交通機関の整備

高齢化が進んでいる現状や、中山間地域の市民の利便性にも十分考慮され、更なる公共交通整備の配慮を望みます。